



IFES Issues and Analysis - NO.58 [2017-08] May. 16, 2017

韓国大統領選後：少数派の大統領と連立政治の統治戦略



金楨
 北韓大学院大学教授
 jungkim70@kyungnam.ac.kr

韓国大統領の政策議題は法案の形で国会に提出され、国会議員の過半数の同意を得て法律になってからではじめて世の中に出る。「権力を共有する分離された機関」を中核原理とした1987年の憲法が規定した政治過程の枠組みの中で、大統領は自分の政策実現が常に国会の承認に依存しているとの事実を念頭に置いて統治戦略を練る必要がある。2012年、国会法は与野党の合意なしには国会議長が法案を職権で上程できず、議員の5分の3、または180人の賛成なしには法案を本会議にかけられないよう改正された。議員の5分2、または120人を占める少数派の政党あるいは連立政党に消極的な議題統制権を付与した国会先進化法の規定は、政策議題を現実化するためには事実上、多数の立法支持を超え、「超多数」の支持確保が不可欠であることを大統領に示す。

行政府と立法府の制度分立や権力共有を明示した憲法と少数派の立法拒否権を保障する国会法は、新大統領の文在寅(ムン・ジェイン)氏が直面する最も根本的な制度的制約性を示す。大統領の就任日時点で「共に民主党」は120議席を占めている一方、対立する「自由韓国党」は107議席、「国民の党」は40議席、「正しい政党」は20議席、「正義党」は6議席、「セヌリ党」は1議席、無所属が6議席となっている。与党は国会法が求める5分3の超多数派の地位はもちろん、憲法が要求する過半数の地位すら占めていない。与党単独では大統領の政策議題を法律で実現する立法を主導できないのは明白だ。文大統領が直面する分裂政権の状況は結局、連立政治を大統領選後の統治戦略の中心課題として浮上させる。

計算上で見れば、文大統領が好む連立政治の対象は共に民主党と国民の党、正しい政党をまとめて5分3を満たす最小勝利連合を構築することである。正義党も対象になり得るが、国民の党が正しい政党のどちらかが連合体を離脱する場合、5分の3が崩壊するため、二党は連立政治で決定的な位置を占める。しかし、共に民主党・国民の党・正しい政党の最小勝利連合は文大統領に連立政治で発生しがちな容易ではない戦略的ジレンマを抱かせる。支持勢力が望む政策と連立対象勢力が望む政策が食い違うという問題である。

地上波3局の大統領選出口調査結果によると、回答者の20.7%が「腐敗・不正の清算」を投票先の選択理由に挙げ、19.6%が「経済成長」、19.3%が「道徳性・清廉」、18.1%が「国民統合」を挙げた。このうち、文氏を支持した有権者の29.9%は「腐敗・不正の清算」のため同氏に投票したと述べた一方、23.9%は「国民統合」を挙げた。一方、安哲秀(アン・チョルス)氏を支持した有権者の30.9%が「道徳性・清廉」を、27.3%が「経済成長」のため同氏に投票したと回答した。文氏支持者の求める「腐敗・不正の清算」に関する政策は平均より9ポイント以上、安氏支持者(12.6%)よりは17ポイント高い。同じく、文氏支持者の求める「経済成長」に関する政策(14.5%)は平均より5ポイント以上、安氏支持者よりは12ポイント低い。言い換えると、「腐敗・不正の清算」を大統領政策議題の優先順位の上位にする場合には安氏支持者の反発が、「経済成長」を上位にする場合には文氏支持者からの反発が予想される。

少数派の大統領が連立政治の戦略的ジレンマを解決する最善の方法は、連立政党の間の政策的な最小共通点を見つけ、立法を試みることである。出口調査によると、回答者の53.2%が「経済活性化・雇用」を次期政権が最優先で取り組む国政課題に挙げた。さらに重要なことは、次期大統領の政策議題のうち、最優先課題として「経済活性化・雇用」を挙げたのは文氏支持者(51.9%)、安氏支持者(59.0%)、そして洪準杓(ホン・ジュンピョ)氏支持者(50.4%)のいずれも同様の水準であることだ。同調査で回答者の53.7%が韓国社会で最も改革すべき分野として「国会・政党」を挙げた。この政策議題も文氏支持者(45.5%)、安氏支持者(61.0%)、洪氏支持者(45.8%)の間で比較的広範囲な合意に達しているとみられる。支持勢力間の利害関係が異なる議題よりは、利害関係が一致する政策的な最小共通点は比較的はっきりしている。文大統領と文氏が率いる行政部が政策的な優先順位をどう調整していくべきかを示す意味のある結果といえる。

前大統領の弾劾に伴い実施された例のない大統領補欠選の結果という点において、文大統領の就任は国民に高い期待を持たせる。しかし、文大統領が直面している状況を直視すれば、期待と

現実の間の乖離は極めて大きい。少数派の大統領が分裂政権の下で政策議題を実現するためには、有権者の期待値を下げ、連立政治のパートナー勢力と政策的な最小共通点に合意し、政治実績を積み重ねていく段階的な統治戦略の策定が不可欠となる。文大統領が抱える重要な歴史的課題があるとすれば、その一つは韓国政治で前例のない連立政治の枠組みづくりに成功することである。

[MORE ARTICLES](#)

—上記の内容は著者の意見であり、極東問題研究所の公式な立場を示すものではありません。

—メーリングリストに登録をご希望の方はお名前や電子メールアドレス、所属先を下記のメールアドレスまでお送りください。 ifes@kyungnam.ac.kr

You can remove your email address from our mailing list by clicking link below

[\[No longer receive e-mail\]](#)



경남대학교 극동문제연구소
The Institute for Far Eastern Studies

COPYRIGHT(C) 2010 IFES ALL RIGHTS RESERVED
2(Samcheong-dong) Bukchon-ro 15-gil, Jongno-gu, Seoul 110-230,
Republic of Korea
TEL. +82-2-3700-0739 FAX. +82-2-3700-0707
EMAIL. ifes@kyungnam.ac.kr